

**対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「オレンジ・ウォーク町ごみ収集車整備計画」
引渡式**

2019年9月25日、オレンジ・ウォーク県において、対ベリーズ草の根・人間の安全保障無償資金協力「オレンジ・ウォーク町ごみ収集車整備計画」の引渡式が開催されました。

窪田大使は、挨拶の中で、人々への直接の裨益を目指す日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、同市役所への新しいごみ収集車の供与が実現したことを喜びだと述べました。また、今般の支援は、オレンジ・ウォークの町民の生活環境の向上に貢献すると信じるとした上で、廃棄物管理と環境保護という課題に今後も両国が協力して取り組み、より緊密な二国間関係を築いていきたいと強調しました。

オレンジ・ウォーク町は、1日あたり約16トン排出される家庭ごみの収集に対応してきましたが、機材の故障によって、時には3週間もごみが放置された地域もあり、ごみ収集の問題に直面してきました。

このような状況を改善するため、今般、草の根・人間の安全保障無償資金協力で供与された84,250米ドルで、同町役場は1台のごみ収集車を購入することができました。この供与によって、オレンジ・ウォーク町町民の皆様がより良い衛生的な環境で生活を送れるようになることが期待されています。

同引渡式には、ジョン・ブリセーニョ人民連合党党首、ケヴィン・ベルナード町長他同町関係者、報道関係者、JICA関係者など約60名が出席しました。

被供与団体のケヴィン・ベルナード町長は、同町のビジネスや産業が成長するにつれて、大幅に増加したごみの問題に直面する中、草の根による新たな圧縮型ごみ収集車の寄贈を受けたことは大きな喜びであり、適切に整備し末永く利用する、日本政府、及び日本国民に心から感謝したいと述べました。



窪田大使によるスピーチ



日本政府と日本国民への謝意を述べるケヴィン・ベルナード町長。



ジョン・ブリセーニョ人民連合党党首によるスピーチ



供与車両の前で行われたテープ・カット



式典の参加者



供与されたごみ収集車